

石巻専修大学

「石巻専修大学」ホームページ <https://www.senshu-u.ac.jp/isinomaki/>石巻専修大学
広報係☎986-8580
宮城県石巻市
南境新水戸1番地
☎0225-22-7717(直)30th
1989-2019
ISHINOMAKI SENSU University

小学校教員目指し宿泊研修 知識や指導法の理解深める

人間教育学科 15人が参加

小学校教員を目指す学生を対象とした人間学部人間教育学科の宿泊研修が2月5日から7日まで、志津川自然の家(宮城県南三陸町)で行われた。1年次生3人、2年次生8人、3年次生4人の計15人が参加。小学校の教員として必要な各教科に対する知識や指導方法、学習指導要領などについて講義が行われ、学生たちは理解を深めた。こうした研修は同学科1期生の支援を目的に2015年から始まり、宿泊形式は3回目。今回は有見正敏特任教授ら教員



横江信一特任教授の講義

石巻魚市場で水産業の未来について
聞く1年次生

石巻魚市場と、冷蔵保管や水産加工などを展開する(株)スィーデンを訪れた。魚市場の衛生管理体制、水産加工場の仕組みなどの説明を聞き、熱心にメモを取った。

梶原峻介さん(宮城県仙台高)は「実際の生産現場を見ることができた。企業の方から話を聞

宮城県食肉衛生検査所で食の安全に対する
取り組みを学ぶ2年次生

き、これからの水産業は海外に目を向けることが重要だと感じた。今後は英語や中国語など外国語の習得にも力を入れた」と語った。

斎藤天海さん(宮城県水産高)は「石巻魚市場(株)、食品や食品製造施設

石巻専修大学は、石巻市、ソフトバンク(株)と情報通信技術(ICT)の活用を目的とした包括連携協定を結んだ。1月25日、石巻市役所で締結

ICT利活用目的に 包括連携協定結ぶ 石巻市・ソフトバンクと

「歴史文化遺産と地域づくりに関する一考察」をテーマに発表したのは菅原清弘さん(岩手県一関学院高)。「生まれ育った宮城県栗原市には旧有壁宿本陣などの歴史的な建築物がある。これらはどう保存し、地域はどうあるべきかを研究したい」と考えていた。文献調査や関係者への聞き取り、有壁宿の認知度アンケートを実施し、収集したデータを分析した。「住民が関心を持ち、地域資源を継承することが地域の発展に必要な」と結んだ。

発表後には質疑応答が行われ、4年次生たちは教員や後輩たちからの質問に丁寧に答えた。

グループワークに取り組んだ



英語の講義を担当した。また、教員採用試験を見据えた過去問題対策や面接練習など、さまざまなプログラムが展開された。

佐藤ありさん(3年次)・宮城県小牛

て、「自分にできないことを聞き、苦手意識を持つことが明確になった研修だった。同時に、日ごろの学習で身につけている部分を確認することができた。普段あまり接することのない先輩たちとも交流を持つことができ、充実した時間を過ごすことができた」と振り返り、「小学生の時に憧れた担任の先生に少しでも近づけるよう、これまで以上に努力していきたい」と決意を新たにしていた。

千葉彩有花さん(1年次)・宮城県常盤木学園高)は「大津先生の講義

を聞き、苦学意識を持つことができた。先輩たちとの集団討議では、自分の意見をしっかりと伝えることができたように感じるなど、成長を実感することができた。参加して本校の教員だったの採用試験の合格はもちろん、母のような理想の教員を目指し、これからも頑張っていきたい」と話した。



人間学部人間文化学科の卒業論文・研究発表会が2月1日、4号館で開催された。4年次生28人が「ことばと芸術文化」と「生活と地域文化」の2つの領域に分かれ、4年間の学びの成果を発表した。

金子由芽さん(宮城県石巻好文館高)のテーマは「ボーイ・ミーツ・ボーイ」という作品から知るセクシャリティーと「生活と地域文化」の2つの向き合い方。作品を通して、アメリカでの実情や偏見などを探り、「こうした問題を取り上げた



部活動支援の概要を説明する菅野さん(左)と盛藤さん

部活動支援は経営学部の授業の一環として、ソフトバンクが提供する「スマートコーチ」(スマートフォンなどを通してレッスンを受ける通信サービス)を活用し、大學生が中学生に専門的な技術の指導を行う。部活動の担当教諭の負担を軽減する狙いもある。締結式では菅野大樹さん(経営3・宮城県栗原高)と盛藤城さん(経営2・福島県福島高)が野球部指導について概要を説明。菅野さんは「硬式野球部で学生コーチを務めている経験を生かし、気持ちやモチベーションを上げてほしい」と語った。

石巻市立桜坂高校と協力し、「Pepper」社会貢献プログラム」に取り組む経営・外井道晴ゼミの佐藤夏樹さん(2年次・宮城県迫高)は「これまで同様、石巻の魅力や伝えるアイデアを高校生たちと出し合い、多くの方に楽しんでもらいたい」と話す。同プログラムでは今後、石巻市のかまち交流センターにPepperを常設し、観光コンテンツを発信していく予定。